

## 第13回 JADEC 年次学術集会

### 開催に関する趣意書

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素よりわが国のダイアベティス・糖尿病医療の発展、ならびにその質向上に多大なるご支援・ご尽力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、このたび私どもは、2026年に、ダイアベティス・糖尿病医療の質向上、関連研究の推進、さらには社会啓発を目的とする「第13回 JADEC 年次学術集会」を7月18日（土）～19日（日）の両日に行われ、国立京都国際会館（京都府京都市）において開催する運びとなりました。

ダイアベティス・糖尿病は、単なる代謝疾患にとどまらず、心血管疾患、腎障害、認知症、肥満、フレイルなど多領域に影響を及ぼす疾患であり、医療のみならず社会全体での包括的な対応が求められています。診断・治療法の進歩、デジタル技術の導入、多職種連携の深化、さらには当事者参画やアドボカシーの重要性が一層高まる中で、医療者が現場の実践知と最新エビデンス、社会的視点を統合して共有・議論する場の必要性は、これまで以上に大きくなっています。本学術集会は、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師等の医療者のみならず企業、行政の方にもご参画いただいております、理想的な医療を創造する新たなプラットフォームに成長しつつあります。

本学術集会が、ダイアベティス・糖尿病医療の質向上と、持続可能な医療・社会の実現に向けた新たな連携と価値創出の場となることを、心より願っております。何卒、多くの皆様にご参加いただき、有意義な場とするべく、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

2026 年 1 月 吉日

第13回 JADEC 年次学術集会  
会長 津村 和大  
川崎市立川崎病院



# 第13回 JADEC 年次学術集会

## 事業計画

1. 趣旨及び目的 : 本質を見抜くチカラ 未来への扉をひらく勇氣
2. 主催 : JADEC (公益社団法人日本糖尿病協会)
3. 会長 : 津村 和大 (川崎市立川崎病院)
4. 開催方法 : ハイブリッド開催  
[現地開催 + 会期後オンデマンド配信]
5. 会期 : 2026年7月18日(土)～19日(日)  
[2026年8月1日(土)～31日(月) : オンデマンド配信期間]
6. 会場 : 国立京都国際会館  
〒606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷲町 422
7. 参加対象 : ダイアベティスケアに携わる医療者・行政職員・企業社員等
8. 参加者数 : 2,500人
9. 予定プログラム : 各種講演  
一般演題  
スモールグループディスカッション  
シンポジウム  
CDEL 活動報告  
各種セミナー  
各種参加型プログラム

# 13th JADEC 年次学術集会

本質を見抜く**チカラ**  
未来への扉をひらく**勇気**

Diabetes  
対話と交流

会期：2026年7月18日(土)  
19日(日)

会場：国立京都国際会館

会長：津村 和大 川崎市立 川崎病院

EBM

チーム

成長

CDE

充実の対話型集会 チーム医療の最前線

主催：  **JADEC** Japan Association for  
Diabetes Education and Care  
公益社団法人 日本糖尿病協会

[www.nittokyo.or.jp](http://www.nittokyo.or.jp)

JADEC

検索 

# チーム医療の最前線を体感できる 充実の対話型学術集会です！



楽しい交流と  
新しい仲間創り

ダイアベティス  
ケアの実践

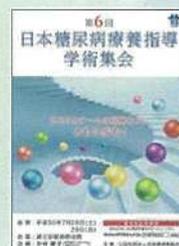
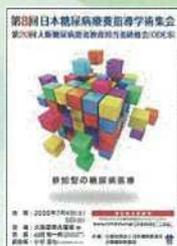
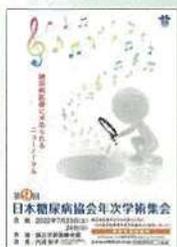
全国CDE  
ミーティング

- JADEC年次学術集会は、ダイアベティス・糖尿病のサイエンスを学び、医療者が身につけておきたいケアの心を共有できるとも魅力的なイベントです。
- 初めて参加される方でも安心して討議いただけるグループディスカッションや体験型セミナーが充実しています。
- 職種間交流を通じてチーム医療の最前線を体感しましょう！

人材育成と  
臨床研究の推進

アドボカシーと  
社会啓発の未来

医療者と企業人  
の新しい連携



## 学術集会事務局

JADEC 公益社団法人 日本糖尿病協会  
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-2-4 麹町セントラルビル8F  
TEL: 03-3514-1721 FAX: 03-3514-1725  
E-mail: meeting@nittokyo.or.jp

JADEC

検索